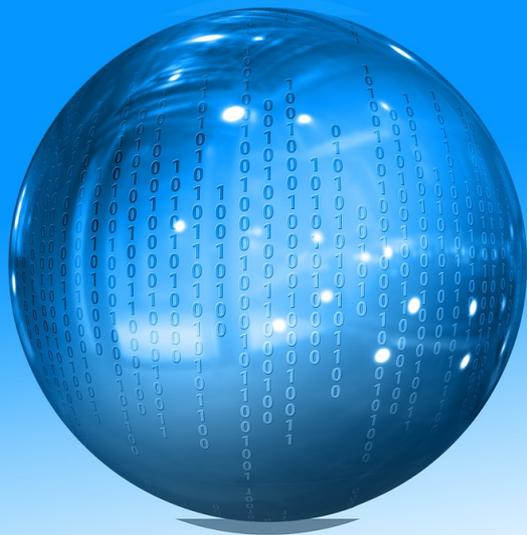


がん診断の最前線

— 診断装置・技術、人工知能等の開発・上市 —

第14回

医療機器フォーラム



日時

平成28年 9月5日(月)

10:00-17:00

場所

国立がん研究センター研究所
国際会議場

東京都中央区築地5-1-1

国際研究交流会館3階

プログラム 詳細は下記URL参照

[第一部] 10:00-11:50

開会の辞／奥田晴宏(国立衛研)

次世代事業「微量診断装置審査WG」の活動／前田瑞夫(理化学研究所)

がん患者数の推移と新規診断システム導入の臨床的意義／前川真人(浜松医科大学)

マイクロ流体チップを利用した微量診断装置の開発／北森武彦(東京大学)

自律駆動マイクロ流体チップによる簡便なマイクロRNA測定／細川和生(理化学研究所)

線虫嗅覚を利用したがん診断システムの開発／広津崇亮(九州大学)

[第二部] 12:50-14:40 (12:50-13:00は事務局からの会計報告)

体液診断の現状と課題／落谷孝広(国立がん研究センター研究所)

ゲノム医療と次世代シーケンサー:医療機器化に向けて／石倉清秀(イルミナ株式会社)

質量分析計の診断機器への展開とその課題-企業からの取り組み-／尾島典行(島津製作所)

深層学習Deep Learningの医療応用／大田信行(Preferred Networks America, Inc.)

IBM Watson Health 次世代医療・ヘルスケアへの挑戦／溝上敏文(日本IBM)

[第三部] 14:55-16:00

標準物質と臨床検査に関する国際標準化の最前線／中江裕樹(JMAC)

薬事規制における遺伝子検査システムについて／小池紘一郎(厚生労働省)

薬事規制における診断を意図する医療機器の考え方／加藤健太郎(PMDA医療機器審査第一部)

薬事規制における体外診断用医薬品の考え方／徳弘慎治(PMDA体外診断薬審査室)

[第四部] 16:05-17:00

総合討論／座長:前田瑞夫(理化学研究所)

閉会の辞／堤 定美(金沢工業大学)



【申し込み方法】 氏名(フリガナ)、所属、連絡先(E-mail, TEL)を記載し、メールでお申込みください。

【問合・申込先】 医療機器フォーラム事務局

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀1-18-1 国立医薬品食品衛生研究所 医療機器部

【E-mail】 iryokiki@nihs.go.jp 【Tel】03-3700-4842(直通) 【ホームページ】 <http://dmd.nihs.go.jp/iryokiki/>

【参加費】 (一般)5000円, (官学/非営利団体)3000円, (学生/国立がん研究センター教職員)無料

